



友好交流提携記念イベント「サンタアニタウィーク」開催

TCK(東京シティ競馬)では、7月20日(月・祝)～7月24日(金)の第6回開催を「サンタアニタウィーク」と題し、米国・サンタアニタパーク競馬場との友好交流記念イベントを実施します。1995年にアメリカ西海岸にあるサンタアニタパーク競馬場と友好交流提携を締結して以来、TCKではサンタアニタトロフィー(SIII)、サンタアニタパークでは「TOKYO CITY CUP STAKES」を友好交流競走として実施しているほか、騎手や調教師、競走馬を派遣しての交流も行われてきました。

また交流競走実施時には、それぞれサンタアニタウィーク、Japan Family Dayとして場内イベントをしており、来場されたお客様に両国の文化を紹介する場となっています。今回のサンタアニタウィークではアメリカンのグルメや競馬グッズ、雑貨を取り揃えていますので、ぜひTCKにお越しください。



フォーエバーヤング号(JRA所属)のブリーダーズカップクラシック優勝を記念した特別展示がTCKで実現!

アメリカで競馬が始まったのは17世紀半ば、本場イギリスから持ち込まれたことに端を発します。ヨーロッパでは貴族のスポーツとして発展した競馬は、アメリカにおいては市民に開かれた娯楽として独自の進化を遂げ、「祭り」として文化に根付いてきました。現在では年間レース数は3万を超え、賞金総額は約1,800億円規模に達するなど、世界最大級の競馬市場を形成しています。そのアメリカ競馬の頂点に位置づけられるのがブリーダーズカップです。世界中からトップレベルの競走馬が集結するこの舞台は、まさに競馬の世界最高峰といえる存在です。

2025年、この大舞台で日本馬フォーエバーヤング号が歴史的な勝利を挙げました。日本調教馬によるブリーダーズカップクラシック初制覇という快挙です。同馬は、大井競馬場で行われた東京大賞典(GI)を制するなど、日本ダート界でトップクラスの実績を残してきました。その実績を携えて世界に挑戦し、ついに本場アメリカで結果を残しました。

この勝利の価値は非常に大きいものです。単なる1勝にとどまらず、日本競馬の実力を世界に示し、そのブランド価値を高める出来事となりました。世界の中心地で結果を出すことは、次なる挑戦への扉を開く意味を持っています。こうした流れは他競技でも見られます。野球界では野茂英雄選手がメジャーリーグへの道を切り拓き、その後、多くの日本人選手が続きました。現在では大谷翔平選手が新たな歴史を築いています。サッカー界でも、中田英寿選手が欧州挑戦の礎を築き、いまでは日本人選手が世界各国のリーグで活躍する時代となりました。いずれも、先駆者の成功が次の挑戦を生み出してきた結果です。競馬も例外ではありません。今回の勝利を契機として、海外遠征の活性化や馬券売上の拡大、世界的名馬の参戦増加といった好循環が生まれることが期待されます。

今回のサンタアニタウィークではスペシャルイベントとして、フォーエバーヤング号がブリーダーズカップクラシックを制した際のゼッケン、優勝レイ、トロフィーなどを展示します。ぜひTCKにお越しいただき、日本競馬の新たな可能性を切り開いたフォーエバーヤング号の功績を肌で感じてください。

(競馬事務局 広報課)

開催成績

(各回対比)

回別	開催日程	売得金額	利用者数	1日平均			前年度同時期対比(1日平均)		
				売得金額	利用者数	1人当り購買金額	売得金額	利用者数	1人当り購買金額
4	6/8～6/12	11,792,586,390円	1,330,611人	2,358,517,280円	266,122人	8,860円	94.7%	101.0%	93.8%